

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	腹膜透析関連腹膜炎発症予防に対する他職種連携の有効性
研究責任者	野田竜之介
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	腹膜透析(PD)患者では、腹膜炎が重篤な合併症として知られており、PD離脱の原因となるため、発症を予防することが非常に重要です。一方で有効な予防方法については知見が少ないのが現状です。当科では3つの多職種連携の取り組みを通じて腹膜炎の発症予防に努めています。具体的には①CKDG5、PD患者に対する看護師、栄養士と共同で診療を行う他職種外来、②外来看護師、病棟看護師、退院調整看護師、訪問看護師、PD機器メーカー担当者と連携して出口部管理、食塩制限を指導するPD導入カンファレンス、③出口部感染、トンネル感染、PD関連腹膜炎発症例に対してPDに携わるスタッフで再感染防止対策を検討する感染サーベイランスです。今回、それらの取り組みが腹膜炎発症率の低下に寄与しているか調査を行います。個人情報個人が特定されないように匿名化した形で行います。
研究方法	感染サーベイランスを開始した2018年12月1日時点で当院でPDを行っている患者さん112名を対象に、2018年12月1日から2020年12月31日までの腹膜炎発症率を調査し、多職種連携の取り組みの腹膜炎発症予防効果について検討します。また、腹膜炎発症患者に対して発症原因や起炎菌、転帰などを調査し、再発防止のための解析を行います。この研究に参加を希望されない方はご連絡ください。ご希望されなくても不利益はございません。
問い合わせ先	日本赤十字社医療センター 腎臓内 科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：野田竜之介 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604